



01 第15回通常総会



02 WEB会議レポート 「コロナ対策あれこれと 悩み事何でも話し合い！」

03 県との意見交換会

連絡会からのお知らせ
・連絡会の活動
・公式LINEについて

裏表紙 会員事業所紹介



巻頭言

理事長就任のご挨拶

株式会社 和が家 今井 祐輔

今回のコロナ禍による異例のオンライン総会で、第4号議案として出された役員改選が可決され、6月16日をもって理事長に就任しました。

連絡会は2000年に組織化された団体で、今年は20周年にあたる年です。この節目の年に、前理事長である宮島渡氏より理事長の役を引継ぎ、新たな体制でのスタートとなります。

連絡会全盛期の当時、自分も連絡会の研修などに参加し強烈な実践を見聞しました。「ニーズは足元にある！」地域に根付いた活動を第一とし、連絡会から発せられる情報に、胸が熱くなると同時に心がときめき、眩しいばかりの輝きがある会でした。当時の自分も「宅老所の実践を現場でしたい！」そんな思いで個別ケアの実践を試行錯誤し、現在に至ります。

連絡会の先人達が作ってくれたこの小規模個別ケアは本当に日本の宝です。その実践はその時の時代背景

に添い、ケアそのものから地域へと拡充していきます。ケアの理念から、地域や住民の生活福祉の向上に結びつくのです。高齢者から子供までの全世代。日常のことから災害まで。貧困から閉じこもり、8020などの時代背景的課題。ありとあらゆる事柄を、宅老所では自分ごとに考え実践していきます。また、行政との対話も欠かさず提言もします。

長野県の宅老所がここまでになったのも先人達の恩恵です。一会員の私が導かれるように時代の変化を捉え対応してきたのも、連絡会があってのものでした。

このネットワークはゆるやかに全国・全世界へと広がります。宅老所は衰退事業？そんなことも喧かれる中ですが、そんなことはありません。むしろ先進事業です。実践の中に答えはあります。それらを共有し、実践事例を通じ共に成長する団体が『長野県宅老所・グループホーム連絡会』です。

これまでの理念と実践の継承、新体制での新たな取り組みを融合しさらなる発展につながるように、情報の提供または調査研究、各種研修、実践活動、行政との繋がり、全国とのネットワーク構築などを行い、会員の皆様の有益な会になれるよう尽力していきます。

第15回通常総会が行われました！

NPO法人のぞみ 伝田景光



6月16日に、第15回通常総会が行われました。今回は前代未聞の会員を集められない総会となりました。

コロナ禍の真っ只中ですべての事が手探りで行われている中、従来通りの総会を行うか、WEB会議で行うか理事会で検討を重ねました。感染予防の観点で総会にはみなさんには委任状をいただき、理事メンバーのみでWEB会議を実施して総会とさせていただきます。

また、こんな状況下ではありましたが役員改選を行いました。宮島前理事長の意向もあり役員若返りが図られました。2020年度からは今井新理事長を中心に新しい船出です。まだまだ先の見えない不安な日々が続きますが「待てば海路の日和あり」、「禍を転じて福と為す」の精神で頑張りましょう！

02

2020年5月26日

連絡会のZoom会議に参加して

社会福祉法人グリーンアルム福祉 齋藤俊一

5月26日に開催されたZoom会議「コロナ対策あれこれ悩み事何でも話し合い」に参加させていただきました。当日は14名の参加者があり、各事業所のこれまでの取り組みや悩み、実際に感染者や感染疑いの者が出た時の事例等も聞くことができ、とても有意義なものでした。私の事業所はグループホームですが、小規模多機能や通所介護事業所の取り組みは、参考になることも多くありました。

リモートの会議というのは初めての経験でしたが、お互

いの姿、表情を見ながら話ができること、また多くの方と同時に意見交換ができるということは貴重な機会であると共に、今回の「コロナ禍」で不安な日々を送る中では、何より心強いものだと感じました。同じ仲間と繋がっている安心感は何事にも代えがたいものです。今後もこのようなリモートでの会議を継続、定着させていただき、さらには研修等にも取り入れて行くことにより、これから先求められる『新しい生活様式』に合わせた連絡会に期待をいたします。

03

2020年5月15日

長野県健康福祉部介護支援課との意見交換会

有限会社 わが家 大石ひとみ

5月15日、長野市におきまして県の介護支援課の方々や新型コロナウイルス感染拡大防止についての意見交換会があり、今井、大石、伝田の理事3名で出席しました。内容については、現状マスクや消毒薬等の過不足についての把握と、小規模事業所のコロナ禍での対応、会員アンケート調査の結果等をお話してきました。また、施設対応と在宅対応の違いなども議題となりました。幸いにして現在、長野県内にて発症者は限られていますが、

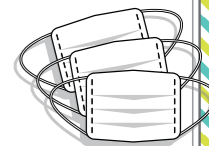
今後第2波、第3波の対策としての応援職員の派遣支援についても意見交換してきました。

連絡会としてどのような体制がとれるか、会員の方からも情報収集し今後につなぎたいと考えております。



お知らせ

会員の皆様にマスクをお送りしました！



年が明けて、日本でも新型コロナウイルスの感染者が増え始め、不穏な空気が漂っていました。トイレットペーパーが店頭から消え、その次はマスクとアルコールなど私たちのケアに直結する物品が姿を消しました。今までの災害支援で、みなさんから支援物資を募り不足しているところへ届ける活動は連絡会として何度もやってきましたが、日本中のどこからもマスクが入手できないという事態が起こり、手も足も出ない経験は初めてでした。

会員の不安な声になんとか答えようと、4月に入手の経路が分かり割高ではありましたが、少なからず皆さんの希望に添える形でマスクを提供できました。

今後も未曾有の事態に備えて何ができるか手探りが続きますが、こんな時だからこそ、会員のみなさんと連携を密に取っていきたく考えています。



26,000枚のマスクを会員事業所様へ発送しました

連絡会 公式LINEアカウント始めました

6月より連絡会公式LINEアカウントを始めました。介護・福祉の最新情報や連絡会の活動・研修情報等、最新の情報をお届けしています。連絡会会員の方はもちろん、それ方以外ももちろんご登録いただけます。

トークルームでは、連絡会スタッフが皆様の疑問・質問にお答えすることもできますのでお気軽にお問い合わせください。皆様と連携を深め、情報を共有していけたらと思います。

\友だち募集中！/

QRコードで！
LINEアプリのホーム画面右上の「友だち追加アイコン」>「QRコード」から左記QRコードを撮影して友だち追加

ID検索で！
LINEアプリのホーム画面右上の「友だち追加アイコン」>「検索」から左記LINE IDを検索して友だち追加

アカウント名検索で！
LINEアプリのホーム画面上部の検索窓から「長野県老所グループホーム連絡会」と検索して友だち追加



Web研修&会議 行っています！

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、連絡会ではWeb研修やWeb会議を行っています。実際に集まることはできませんが、職場や自宅に居ながら研修を受けられるメリットもあります。

8月4日のZoom研修では、感染症看護専門看護師の和田孝子さん、NPO法人デイサービスこのゆびとーまれの惣万佳代子さん、西村和美さんを迎えて、介護現場の感染症対策や、実際に施設で感染者が発生した時のお話をお聞きます。

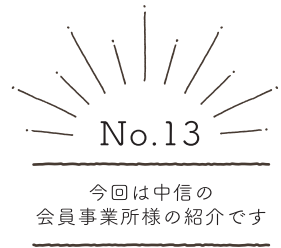
その他の研修についてもWebで行えるよう準備中ですので、是非ご参加ください！

研修や会議の詳細は
連絡会 HP の
「研修・シンポジウム」
または
「お知らせ」ページから！



<http://www.nagano-taku-gh.jp/>

連絡会の会員事業所様をご紹介します！



有限会社 宗明会 小規模多機能型複合福祉施設 見岳荘～けやき～ (小規模多機能型居宅介護 + 住宅型有料老人ホーム)

〒399-8211 安曇野市堀金烏川368-1
TEL: 0263-88-3681 FAX: 0263-88-3680
Mail: soumeikai.jimu@gmail.com
URL: <http://www.soumeikai.net/>



新型コロナウイルスの影響で、積み重ねてきた「茶のみ会」や「サロン」「地域とのつながり」が行えなくなりました。ご近所の方にいつでも気軽にお茶を飲んでいてもらうのがウリでしたが、真逆の行動を強いられ寂しい限りです。そんなタイミングではありますが、見岳荘～けやき～では、ご近所の困りごと解消×利用者様の生きがい作りの事例を報告します。

安曇野市の山際の山麓線沿いに位置する私たち施設「見岳荘～けやき～」。施設の道向こうの独居母さん(80代)の敷地内竹林がどんどん勢力を増し、手を付けられずに困っていました。民生委員さん、区長さんも時間を作り少しずつ竹を切るも追いつかず。私たちも歩道の雪かきをする際、敷地を超えて雪の重みで垂れ下がっている竹に手を焼いていました。

「この竹林、何とかならないかねえ…」の地元の方の一言でスタッフがひらめく「けやきの無機質な鉄の柵に、あの竹を利用して竹垣を作ってみれば?」と。早速竹林の母さんに相談。「切ってもらえると助かる!」



せっかくなので、利用者様との共同作業。竹藪から竹を切ってくるのはスタッフ、その竹を柵のサイズに切るのは利用者様、切った竹をスタッフと利用者様で鉄柵に結び付けていきます。暑すぎず、雨降らずなタイミングを探しながら細々やっていくこの作業。時間がかかり未だ完成しませんが、認知症状で

施設を出ていってしまう利用者様は「この竹垣は私が作った!!」と笑顔。落ち着いて過ごすことができるようになり、ここが一つの自分の居場所と認知してもらえました。関わる利用者様も「俺の仕事!」とやりがいを感じてくれました。

病院退院時、ドクターに「ここまで具合良くないともう施設入所」と言い切られた方も、今や自宅からしっかり通ってノコギリ作業もバリバリですよ!?簡単に諦めないでほしい。「自立支援」と叫ばれる介護保険。平べったく感じるその言葉も、地域を俯瞰したうえで「地域とともに暮らす」視点を加え行動すると、地域貢献ができればの楽しい行事やイベントが生まれます。

この「けやき 竹垣プロジェクト!!」を通じ、完成の先に何が生まれるのか。楽しみです。

文責/有限会社宗明会 代表取締役 山田聡



掲載事業所様 募集中!

皆様の事業所を紹介しませんか?掲載は無料です!
会報誌に掲載したい会員事業所様は事務局までご連絡ください♪

